

ヨーロッパザラボヤ関係調査結果

※北海道ほたて漁業振興協会からの受託研究で実施

道総研中央水産試験場

◎ヨーロッパザラボヤ浮遊幼生調査

10月20日に祝津ホタテ養殖漁場の「かみ」の1カ所で、表層から水深30mまでの浮遊幼生調査を行いました。調査の結果、ザラボヤの浮遊幼生は確認されませんでした（表1）。また、試験籠に設置した付着用板と試験籠にはザラボヤの付着は確認されませんでした。

*悪天候のため、調査および海洋観測は「かみ」のみで実施しました。

表1：ヨーロッパザラボヤ浮遊幼生調査結果

場所	水深	水温 【℃】	クロロフィル 【μg/L】	ザラボヤ		ユウレイボヤ		その他のホヤ		ヒトデ		フジツボ	
				個	個/トッ	個	個/トッ	個	個/トッ	個	個/トッ	個	個/トッ
かみ	0~10m	17.7	0.2~0.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10~20m	17.7	0.3~0.8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20~30m	17.5~17.7	0.5~0.8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【参考資料】

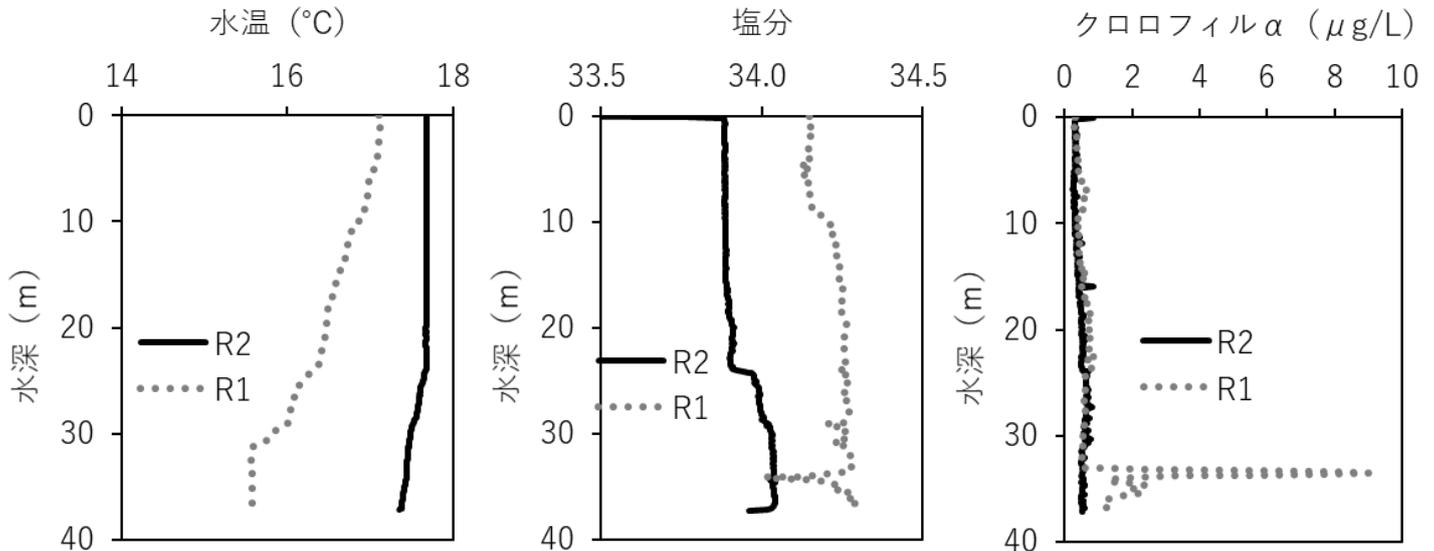


図1：「かみ」の水温・塩分・クロロフィルの鉛直分布。破線は前年同期の値を示す。

ホタテガイ施設周辺の海洋環境を調査しました（図1）。前年は表層から水深30m付近にかけて、水温はなだらかに下降していましたが、今年は表層から底層まで17℃台と一様な値を示していました。今年は昨年と比べて、水温、塩分、クロロフィルともに表層から底層までほぼ一様な値を示しています。水温は幹綱がある水深帯（15m）では前年に比べて約1℃、底層では約2℃高いことがわかりました。

◎ヨーロッパザラボヤ調査は今後継続して実施します（次回調査：11月中旬に実施予定）。

※調査結果は中央水産試験場HPからも確認できます。

<https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/zoushoku/tkh4vd0000002m9a.html>